

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月7日

【四半期会計期間】 第60期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 光世証券株式会社

【英訳名】 The Kosei Securities Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 巽 大 介

【本店の所在の場所】 大阪市中央区北浜二丁目1番10号

【電話番号】 06(6209)0820(代表)

【事務連絡者氏名】 管理グループ部長代理 谷村 和晃

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区北浜二丁目1番10号

【電話番号】 06(6209)0820(代表)

【事務連絡者氏名】 管理グループ部長代理 谷村 和晃

【縦覧に供する場所】 当社東京店
(東京都中央区日本橋兜町9番9号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第59期 第3四半期 累計期間 | 第60期 第3四半期 累計期間 | 第59期 |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日 | 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日 | 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日 |
| 営業収益 (うち受入手数料) (百万円) | 401 (128) | 467 (112) | 639 (161) |
| 純営業収益 (百万円) | 394 | 460 | 630 |
| 経常損失() (百万円) | 218 | 82 | 205 |
| 四半期(当期)純損失() (百万円) | 220 | 82 | 149 |
| 持分法を適用した 場合の投資利益 (百万円) | | | |
| 資本金 (百万円) | 12,000 | 12,000 | 12,000 |
| 発行済株式総数 (千株) | 9,486 | 9,486 | 9,486 |
| 純資産額 (百万円) | 16,373 | 16,470 | 16,758 |
| 総資産額 (百万円) | 20,503 | 21,317 | 20,026 |
| 1株当たり四半期(当期) 純損失金額() (円) | 23.46 | 8.74 | 15.86 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | | | |
| 1株当たり配当額 (円) | | | 14.00 |
| 自己資本比率 (%) | 79.8 | 77.2 | 83.6 |
| 自己資本規制比率 (%) | 1,328.2 | 1,312.6 | 1,419.8 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (百万円) | 989 | 1,501 | 375 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (百万円) | 83 | 109 | 44 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (百万円) | 284 | 132 | 284 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円) | 7,184 | 7,869 | 6,610 |

| 回次 | 第59期 第3四半期 会計期間 | 第60期 第3四半期 会計期間 |
|------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年10月1日 至 2018年12月31日 | 自 2019年10月1日 至 2019年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (円) | 17.36 | 20.36 |

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成していないため、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法の適用の対象となる関連会社はありません。
- 4 上記の比率は以下のように算出しております。
- ・ 自己資本 = 純資産合計 - 新株予約権
 - ・ 自己資本比率 = $\frac{\text{期末自己資本合計}}{\text{期末資産の部合計}} \times 100$
- 5 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの 1 株当たり四半期（当期）純損失であるため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第 3 四半期累計期間において、当社の事業内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たに発生したリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態

当第3四半期会計期間末の総資産合計は、前事業年度末に比べ12億90百万円増加し213億17百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ12億96百万円増加し139億40百万円となりました。その主な要因は、現金・預金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ6百万円減少し73億76百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の減価償却が進んだことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ15億77百万円増加し48億46百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ16億28百万円増加し42億59百万円となりました。その主な要因は、受入保証金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ50百万円減少し5億84百万円となりました。

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末に比べ2億87百万円減少し164億70百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少によるものであります。

経営成績

当第3四半期累計期間の国内株式市場は、前半、欧米をはじめとする不安定な海外市場動向を背景に、投資家心理が強気に向かわず上値が重い相場展開となりましたが、後半に入って、米中協議が部分的合意に向けて進展したこと、英国EU離脱などに対する不透明感が和らいだこと、また、円安が進行したこと等から一転、上昇相場となりました。国内主要株価指数である日経平均株価は、当初、2万円と2万2千円の間を上下した後、10月になって上昇に転じ、12月には1年2か月ぶりに2万4千円台を回復するなど年初来高値を更新する動きとなりました。

このような市場環境のなかで、対顧客営業面では、個別株オプションなど取引所上場のデリバティブを利用した取引手法を、JPXとの共催セミナーなど各種セミナーを通じて紹介する活動を行う一方、つみたてNISA等による資産形成の提案など、個々の顧客ニーズに合わせた提案型営業を地道に継続いたしました。しかしながら、顧客の投資マインドがリスク回避傾向に留まったこともあり、その結果、当期の受入手数料は1億12百万円（前年同期比88.1%）となりました。

一方、自己売買部門では、徹底したリスク管理の下、取引手法を広げるなど売買体制の向上を図るなどディーリング業務に取り組みました結果、当期のトレーディング損益は1億61百万円の利益（同114.2%）となりました。

また、金融収益は、信用取引収益が前期に比べて増加したことから1億28百万円（同184.4%）、販売費・一般管理費は6億90百万円（同89.0%）となりました。

その結果、当四半期の営業収益は4億67百万円（同116.6%）、経常損益は82百万円の損失（前年同期2億18百万円の損失）、四半期純損益は82百万円の損失（同2億20百万円の損失）となりました。

受入手数料

| 期別 | 種類 | 株券 (百万円) | 債券 (百万円) | 受益証券 (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) |
|---|----------------------------|-------------|-------------|---------------|--------------|------------|
| 第59期第3四半期 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 委託手数料 | 104 | 0 | 5 | | 111 |
| | 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料 | 0 | 0 | 4 | | 4 |
| | その他の受入手数料 | 2 | 0 | 9 | 0 | 12 |
| | 計 | 107 | 0 | 19 | 0 | 128 |
| 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 委託手数料 | 93 | 1 | 5 | | 99 |
| | 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料 | | | 0 | | 0 |
| | その他の受入手数料 | 2 | 0 | 9 | 0 | 12 |
| | 計 | 96 | 1 | 15 | 0 | 112 |

委託手数料

当第3四半期累計期間の株式委託売買高は197億81百万円、株数で41百万株となり、株券委託手数料は93百万円となりました。

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、その他の受入手数料

当第3四半期累計期間の募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は0百万円、その他の受入手数料は12百万円となりました。

トレーディング損益

| 区 分 | 第59期第3四半期 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | | | 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | | |
|-----------------------|---|---------------|------------|---|---------------|------------|
| | 実現損益 (百万円) | 評価損益 (百万円) | 計 (百万円) | 実現損益 (百万円) | 評価損益 (百万円) | 計 (百万円) |
| 株券等トレーディング損益 | 264 | 126 | 137 | 214 | 54 | 160 |
| 債券等・その他の トレーディング損益 | 8 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| (債券等トレーディング損益) | (8) | (4) | (4) | (0) | (0) | (0) |
| (その他のトレーディング損益) | (0) | () | (0) | () | () | () |
| 計 | 273 | 131 | 141 | 214 | 53 | 161 |

当第3四半期累計期間のトレーディング損益は、1億61百万円の利益となりました。このうち株券等トレーディング損益については1億60百万円の利益、債券等・その他のトレーディング損益については0百万円の利益となりました。

金融収支

当第3四半期累計期間の金融収益は1億28百万円となりました。また、金融費用は7百万円となり、金融収支は1億21百万円となりました。

販売費・一般管理費

当第3四半期累計期間の販売費・一般管理費は6億90百万円となりました。

特別損益

当第3四半期累計期間の特別損益の合計は、2百万円の利益となりました。これは固定資産売却益等によるものであります。

トレーディング業務の概要

| 区分 | 第59期 (2019年3月31日) | 第60期第3四半期 (2019年12月31日) |
|--------------|----------------------|----------------------------|
| | (百万円) | (百万円) |
| 資産 | | |
| 商品有価証券等 | 1,623 | 1,530 |
| 株券等トレーディング商品 | 1,451 | 1,375 |
| 債券等トレーディング商品 | 172 | 155 |
| その他トレーディング商品 | | |
| デリバティブ取引 | 13 | 6 |
| オプション取引 | 0 | 0 |
| 先物取引 | 12 | 6 |
| 計 | 1,637 | 1,537 |
| 負債 | | |
| 商品有価証券等 | 220 | 209 |
| 株券等トレーディング商品 | 220 | 209 |
| 債券等トレーディング商品 | | |
| その他トレーディング商品 | | |
| デリバティブ取引 | 6 | 28 |
| オプション取引 | 1 | 5 |
| 先物取引 | 4 | 22 |
| 計 | 226 | 238 |

自己資本規制比率

| 区分 | 第59期 (2019年3月31日) | 第60期第3四半期 (2019年12月31日) |
|--|----------------------|----------------------------|
| | (百万円) | (百万円) |
| 基本的項目 (A) | 16,118 | 16,062 |
| 補完的項目 | 金融商品取引責任準備金 | 2 |
| | 一般貸倒引当金 | |
| | 評価差額金等 | 508 |
| 計 (B) | 511 | 411 |
| 控除資産 (C) | 6,296 | 6,305 |
| 固定化されていない自己資本の額 (A) + (B) - (C) (D) | 10,332 | 10,168 |
| リスク相当額 | 市場リスク相当額 | 499 |
| | 取引先リスク相当額 | 16 |
| | 基礎的リスク相当額 | 211 |
| 計 (E) | 727 | 774 |
| 自己資本規制比率(D) / (E) × 100 (%) | 1,419.8 | 1,312.6 |

(注) 上記は金融商品取引法の規定にもとづき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」および「金融庁告示第59号」の定めにより決算数値をもとに算出したものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間の資金状況について、営業活動によるキャッシュ・フローは、預り金及び受入保証金の増加による収入が15億70百万円あったこと等から15億1百万円の増加（前第3四半期累計期間は9億89百万円の増加）、投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出が2億94百万円あったこと等から1億9百万円の減少（前第3四半期累計期間は83百万円の減少）、また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出が1億32百万円あったこと等から1億32百万円の減少（前第3四半期累計期間は2億84百万円の減少）となりました。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上および財務上の対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当第3四半期連結累計期間において、資本の財源及び資金の流動性の重要な変更はありません。

3 【有価証券の売買等業務の状況】

(1) 有価証券の売買の状況(先物取引等を除く)

当第3四半期累計期間および前事業年度における有価証券の売買の状況(先物取引等を除く)は、次のとおりであります。

株券

| 期別 | 受託(百万円) | 自己(百万円) | 合計(百万円) |
|---|---------|---------|---------|
| 第59期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 23,998 | 28,551 | 52,550 |
| 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 19,781 | 19,554 | 39,335 |

債券

| 期別 | 受託(百万円) | 自己(百万円) | 合計(百万円) |
|---|---------|---------|---------|
| 第59期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 278 | 419 | 697 |
| 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 2 | 156 | 158 |

受益証券

| 期別 | 受託(百万円) | 自己(百万円) | 合計(百万円) |
|---|---------|---------|---------|
| 第59期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 3,169 | 193,194 | 196,364 |
| 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 3,937 | 127,459 | 131,397 |

(2) 証券先物取引等の状況

当第3四半期累計期間および前事業年度における証券先物取引等の状況は、次のとおりであります。

株式に係る取引

| 期別 | 先物取引(百万円) | | オプション取引(百万円) | | 合計(百万円) |
|---|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|
| | 受託 | 自己 | 受託 | 自己 | |
| 第59期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 52,837 | 2,938,403 | 44,075 | 3,769,023 | 6,804,340 |
| 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 13,737 | 1,602,886 | 30,483 | 1,988,075 | 3,635,182 |

債券に係る取引

| 期別 | 先物取引(百万円) | | オプション取引(百万円) | | 合計(百万円) |
|---|-----------|--------|--------------|--------|---------|
| | 受託 | 自己 | 受託 | 自己 | |
| 第59期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 28,143 | 30,645 | 46,548 | 5,749 | 111,085 |
| 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 28,448 | 42,663 | 59,235 | 13,255 | 143,603 |

4 【有価証券の引受け及び売出し並びに特定投資家向け売付け勧誘等並びに有価証券の募集、売出し及び私募の取扱い並びに特定投資家向け売付け勧誘等の取扱いの状況】

当第3四半期累計期間および前事業年度における有価証券の引受け及び売出し並びに特定投資家向け売付け勧誘等並びに有価証券の募集、売出し及び私募の取扱い並びに特定投資家向け売付け勧誘等の取扱いの状況は、次のとおりであります。

(1) 株券

(単位：千株、百万円)

| 期別 | | 引受高 | | 売出高 | | 特定投資家 向け売付け 勧誘等の 総額 | | 募集の 取扱高 | | 売出しの 取扱高 | | 私募の 取扱高 | | 特定投資家 向け売付け 勧誘等の 取扱高 | |
|---|----------|-----|----|-----|----|------------------------------|----|------------|----|-------------|----|------------|----|-------------------------------|----|
| | | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 |
| 第59期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 内国 株券 | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | |
| | 外国 株券 | | | | | | | | | | | | | | |
| 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 内国 株券 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外国 株券 | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 債券

(単位：百万円)

| 期別 | 種類 | 引受高 | 売出高 | 特定投資家 向け売付け 勧誘等の 総額 | 募集の 取扱高 | 売出しの 取扱高 | 私募の 取扱高 | 特定投資家 向け売付け 勧誘等の 取扱高 |
|---|------|-----|-----|------------------------------|------------|-------------|------------|-------------------------------|
| 第59期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 国債 | 300 | | | 27 | | | |
| | 地方債 | | | | | | | |
| | 特殊債 | | | | | | | |
| | 社債 | | | | | | | |
| | 外国債券 | | | | | | | |
| | 合計 | | 300 | | | 27 | | |
| 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 国債 | 100 | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | | |
| | 特殊債 | | | | | | | |
| | 社債 | | | | | | | |
| | 外国債券 | | | | | | | |
| | 合計 | | 100 | | | | | |

(3) 受益証券

(単位：百万円)

| 期別 | 種類 | | 引受高 | 売出高 | 特定投資家 向け売付け 勧誘等の 総額 | 募集の 取扱高 | 売出しの 取扱高 | 私募の 取扱高 | 特定投資家 向け売付け 勧誘等の 取扱高 |
|---|-----------|-----|-----|-----|------------------------------|------------|-------------|------------|-------------------------------|
| 第59期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 株式 投信 | 単体型 | | | | | | | |
| | | 追加型 | | | | 245 | | | |
| | 公社債 投信 | 単体型 | | | | | | | |
| | | 追加型 | | | | | | | |
| | 外国投信 | | | | | | | 3,136 | |
| | 合計 | | | | | 245 | | 3,136 | |
| 第60期第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 株式 投信 | 単体型 | | | | | | | |
| | | 追加型 | | | | 63 | | | |
| | 公社債 投信 | 単体型 | | | | | | | |
| | | 追加型 | | | | | | | |
| | 外国投信 | | | | | | | | |
| | 合計 | | | | | 63 | | | |

5 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 20,000,000 |
| 計 | 20,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年12月31日) | 提出日現在 発行数(株) (2020年2月7日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|--------------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 9,486,400 | 9,486,400 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数は100株でありま す。 |
| 計 | 9,486,400 | 9,486,400 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|-------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 2019年12月31日 | | 9,486 | | 12,000 | | 3,000 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、直前の基準日（2019年9月30日）にもとづく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 33,500 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 9,418,000 | 94,180 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 34,900 | | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 9,486,400 | | |
| 総株主の議決権 | | 94,180 | |

- (注) 1 「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式は、全て当社の保有の自己株式であります。
2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。
3 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社の保有の自己株式86株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 光世証券株式会社 | 大阪市中央区北浜二丁目 1番10号 | 33,500 | | 33,500 | 0.35 |
| 計 | | 33,500 | | 33,500 | 0.35 |

(注) 自己株式は、2019年7月19日に実施した譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により38,318株、2019年12月13日に実施した譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により2,500株減少しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第54条および第73条の規定にもとづき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)および「有価証券関連業経理の統一に関する規則」(昭和49年11月14日付 日本証券業協会自主規制規則)に準拠して作成しております。

なお、四半期財務諸表等規則第4条の2第3項により、四半期キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第3四半期会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)および第3四半期累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金およびキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準および利益剰余金基準による割合を示すと次のとおりであります。

| | |
|---------|-------|
| 資産基準 | 0.0% |
| 売上高基準 | 0.0% |
| 利益基準 | 0.3% |
| 利益剰余金基準 | 90.7% |

会社間項目の消去後の数値により算出しております。

また、利益剰余金基準は一時的な要因で高くなってはおりますが、重要性はないものと認識しております。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (2019年12月31日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金・預金 | 6,610 | 7,869 |
| 預託金 | 2,420 | 3,290 |
| トレーディング商品 | 1,637 | 1,537 |
| 商品有価証券等 | 1,623 | 1,530 |
| デリバティブ取引 | 13 | 6 |
| 約定見返勘定 | 560 | 160 |
| 信用取引資産 | 1,009 | 651 |
| 信用取引貸付金 | 596 | 376 |
| 信用取引借証券担保金 | 413 | 275 |
| 支払差金勘定 | - | 10 |
| 有価証券担保貸付金 | 15 | 15 |
| 借入有価証券担保金 | 15 | 15 |
| 立替金 | 0 | 1 |
| 短期貸付金 | 1 | 1 |
| 前払金 | 0 | 0 |
| 前払費用 | 7 | 37 |
| 未収入金 | 0 | 0 |
| 未収還付法人税等 | 47 | 12 |
| 未収収益 | 15 | 11 |
| 短期差入保証金 | 281 | 339 |
| その他の流動資産 | 35 | - |
| 流動資産計 | 12,644 | 13,940 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,176 | 4,146 |
| 建物 | 1,383 | 1,347 |
| 器具備品 | 27 | 32 |
| 土地 | 2,766 | 2,766 |
| 無形固定資産 | 40 | 31 |
| ソフトウェア | 39 | 29 |
| 電話加入権 | 0 | 0 |
| その他 | 1 | 1 |
| 投資その他の資産 | 3,165 | 3,199 |
| 投資有価証券 | 2,743 | 2,782 |
| 関係会社株式 | 7 | 7 |
| 長期立替金 | 87 | 87 |
| その他 | 562 | 557 |
| 貸倒引当金 | 235 | 235 |
| 固定資産計 | 7,382 | 7,376 |
| 資産合計 | 20,026 | 21,317 |

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (2019年12月31日) |
|-----------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| トレーディング商品 | 226 | 238 |
| 商品有価証券等 | 220 | 209 |
| デリバティブ取引 | 6 | 28 |
| 信用取引負債 | 102 | 168 |
| 信用取引借入金 | 81 | 132 |
| 信用取引貸証券受入金 | 20 | 35 |
| 受取差金勘定 | 7 | - |
| 預り金 | 1,815 | 2,364 |
| 顧客からの預り金 | 1,788 | 2,197 |
| その他の預り金 | 26 | 127 |
| 募集等受入金 | - | 40 |
| 受入保証金 | 388 | 1,409 |
| 未払金 | 9 | 8 |
| 未払費用 | 35 | 34 |
| 未払法人税等 | 30 | 28 |
| 賞与引当金 | 15 | 7 |
| 流動負債計 | 2,630 | 4,259 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 214 | 170 |
| 退職給付引当金 | 63 | 59 |
| 役員退職慰労引当金 | 352 | 349 |
| その他の固定負債 | 4 | 4 |
| 固定負債計 | 635 | 584 |
| 特別法上の準備金 | | |
| 金融商品取引責任準備金 | 2 | 2 |
| 特別法上の準備金計 | 2 | 2 |
| 負債合計 | 3,268 | 4,846 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,000 | 12,000 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 3,000 | 3,000 |
| その他資本剰余金 | 1,128 | 1,106 |
| 資本剰余金合計 | 4,128 | 4,106 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 300 | - |
| 繰越利益剰余金 | 91 | 5 |
| 利益剰余金合計 | 208 | 5 |
| 自己株式 | 87 | 37 |
| 株主資本合計 | 16,249 | 16,062 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 486 | 387 |
| 評価・換算差額等合計 | 486 | 387 |
| 新株予約権 | 21 | 21 |
| 純資産合計 | 16,758 | 16,470 |
| 負債・純資産合計 | 20,026 | 21,317 |

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) |
|--------------------------------|--|--|
| 営業収益 | | |
| 受入手数料 | 128 | 112 |
| 委託手数料 | 111 | 99 |
| 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等 の取扱手数料 | 4 | 0 |
| その他の受入手数料 | 12 | 12 |
| トレーディング損益 | *1 141 | *1 161 |
| 金融収益 | *2 69 | *2 128 |
| その他の営業収益 | 61 | 64 |
| 営業収益計 | 401 | 467 |
| 金融費用 | *3 6 | *3 7 |
| 純営業収益 | 394 | 460 |
| 販売費・一般管理費 | | |
| 取引関係費 | 63 | 59 |
| 人件費 | 408 | 323 |
| 不動産関係費 | 105 | 102 |
| 事務費 | 10 | 9 |
| 減価償却費 | 59 | 56 |
| 租税公課 | 101 | 110 |
| その他 | 26 | 27 |
| 販売費・一般管理費計 | 775 | 690 |
| 営業損失() | 380 | 229 |
| 営業外収益 | *4 163 | *4 148 |
| 営業外費用 | *4 0 | *4 1 |
| 経常損失() | 218 | 82 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 2 |
| 金融商品取引責任準備金戻入 | 0 | 0 |
| 新株予約権戻入益 | - | 0 |
| 特別利益計 | 0 | 2 |
| 税引前四半期純損失() | 218 | 80 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2 | 2 |
| 四半期純損失() | 220 | 82 |

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失() | 218 | 80 |
| 減価償却費 | 59 | 56 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 0 | 0 |
| 投資事業組合運用損益(は益) | 112 | 87 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 77 | 3 |
| 金融商品取引責任準備金の増減額(は減少) | 0 | 0 |
| 有形固定資産売却損益(は益) | - | 2 |
| 受取利息及び受取配当金 | 32 | 44 |
| 預託金の増減額(は増加) | 403 | 870 |
| 預り金及び受入保証金の増減額(は減少) | 62 | 1,570 |
| 約定見返勘定の増減 | 962 | 400 |
| トレーディング商品(資産)の増減額(は増加) | 1,193 | 99 |
| トレーディング商品(負債)の増減額(は減少) | 767 | 11 |
| 信用取引資産の増減額(は増加) | 123 | 358 |
| 信用取引負債の増減額(は減少) | 26 | 66 |
| 短期差入保証金の増減額(は増加) | 29 | 57 |
| 有価証券担保貸付金の増減額(は増加) | 2 | 0 |
| その他 | 44 | 1 |
| 小計 | 1,103 | 1,415 |
| 利息及び配当金の受取額 | 32 | 44 |
| 法人税等の還付額 | - | 54 |
| 法人税等の支払額 | 147 | 12 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 989 | 1,501 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 1 | 13 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 294 | 294 |
| 投資事業有限責任組合からの分配による収入 | 211 | 197 |
| その他 | 0 | 0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 83 | 109 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | 0 | 0 |
| 配当金の支払額 | 284 | 132 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 284 | 132 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 620 | 1,259 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,563 | 6,610 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | *1 7,184 | *1 7,869 |

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

1 トレーディング損益の内訳

前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

| | 実現損益 (百万円) | 評価損益 (百万円) | 計 (百万円) |
|-----------|---------------|---------------|------------|
| 株券等 | | | |
| トレーディング損益 | 264 | 126 | 137 |
| 債券等・その他の | | | |
| トレーディング損益 | 8 | 4 | 4 |
| うち債券等 | | | |
| トレーディング損益 | (8) | (4) | (4) |
| うちその他の | | | |
| トレーディング損益 | (0) | () | (0) |
| 計 | 273 | 131 | 141 |

当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

| | 実現損益 (百万円) | 評価損益 (百万円) | 計 (百万円) |
|-----------|---------------|---------------|------------|
| 株券等 | | | |
| トレーディング損益 | 214 | 54 | 160 |
| 債券等・その他の | | | |
| トレーディング損益 | 0 | 0 | 0 |
| うち債券等 | | | |
| トレーディング損益 | (0) | (0) | (0) |
| うちその他の | | | |
| トレーディング損益 | () | () | () |
| 計 | 214 | 53 | 161 |

2 金融収益の内訳

| | 前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|--------|--|--|
| 信用取引収益 | 14百万円 | 85百万円 |
| 受取配当金 | 52百万円 | 41百万円 |
| 受取債券利子 | 0百万円 | 0百万円 |
| その他 | 1百万円 | 0百万円 |
| 計 | 69百万円 | 128百万円 |

3 金融費用の内訳

| | 前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|--------|--|--|
| 信用取引費用 | 6百万円 | 7百万円 |
| 計 | 6百万円 | 7百万円 |

4 営業外収益および費用の内訳

| | 前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|---------------|--|--|
| (営業外収益) | | |
| 受取配当金(其他有価証券) | 27百万円 | 38百万円 |
| 投資事業組合運用益 | 112百万円 | 87百万円 |
| 参加者プログラム支援金 | 12百万円 | 13百万円 |
| 受取利息 | 5百万円 | 6百万円 |
| その他 | 4百万円 | 3百万円 |
| 計 | 163百万円 | 148百万円 |

| | 前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|---------|--|--|
| (営業外費用) | | |
| その他 | 0百万円 | 1百万円 |
| 計 | 0百万円 | 1百万円 |

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 現金・預金 | 7,184百万円 | 7,869百万円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 百万円 | 百万円 |
| 現金及び現金同等物 | 7,184百万円 | 7,869百万円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|-------|-----------------|------------|------------|
| 2018年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 282 | 利益剰余金 | 30.0 | 2018年3月31日 | 2018年6月29日 |

(2) 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-----------------|-------|-----------------|------------|------------|
| 2019年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 131 | 利益剰余金 | 14.0 | 2019年3月31日 | 2019年6月27日 |

(2) 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当社の事業である金融商品取引業ならびにこれらの付属業務は「投資・金融サービス業」という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社の事業である金融商品取引業ならびにこれらの付属業務は「投資・金融サービス業」という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

四半期財務諸表等規則第8条の2の規定にもとづき、注記を省略しております。

(有価証券関係およびデリバティブ関係)

1 トレーディングに係るもの

(1) トレーディングの状況に関する事項

当社におけるトレーディングの概要

当社は、有価証券市場における公正な価格形成および円滑な流通を目的として、トレーディング業務を行っております。当社のトレーディングポジションは、顧客のさまざまなニーズに対応するために行っている取引から発生するものおよび裁定取引やポジションのヘッジ取引等のディーリング業務から発生しております。

取扱商品は、株式・債券等の商品有価証券、株価指数先物・債券先物・金利先物およびこれらのオプション取引に代表される取引所取引の金融派生商品、先物外国為替取引・選択権付債券売買・通貨オプション等の取引所取引以外の金融派生商品(店頭デリバティブ)の3種類であります。

トレーディングにおけるリスクの概要

トレーディングにおけるリスクのうち、主要なものはマーケットリスクと取引先リスクがあげられます。

マーケットリスクは、株式・金利・為替等の市場価格が変動することによって発生するリスクであり、取引先リスクは、取引相手先が契約を履行できなくなる場合に発生するリスクであります。

当社のリスク管理体制

証券業務は、市況の変化に影響を受けやすく、加えて取扱商品の多様化、とりわけデリバティブの取扱により直面するリスクも複雑化しております。従いまして、トレーディングにおけるリスク管理は極めて重要であると認識しております。

マーケットリスク管理方法では、各商品毎のポジション限度額およびロスカットルールを設定し、その遵守状況を監視しております。これらの市場リスクに係るリスク量はトレーディンググループから独立した管理グループにおいて日々、ポジションの評価・損益・リスク額を管理し、経営者が把握できるようにしております。一方、取引先リスクにつきましても、取引先の信用状況の評価をもとに取引限度額を設定し、日々の管理体制として担保評価および各取引の評価損益の把握等、適切な管理を行っております。また、その遵守状況については適宜、経営者に報告しております。デリバティブの場合の取引限度額は当該取引を再構築するためのコスト(再構築コスト)に加え将来の当該コストの予想上昇分を加えた与信相当額をベースに設定しております。また、与信リスクを軽減するためにネットिंग契約の締結、担保の徴求を必要に応じ行っております。

(2) 商品有価証券等(売買目的有価証券)

前事業年度の損益に含まれた評価差額

| | |
|----|------|
| 株式 | 2百万円 |
| 債券 | 2百万円 |

当第3四半期累計期間の損益に含まれた評価差額

| | |
|----|-------|
| 株式 | 33百万円 |
| 債券 | 0百万円 |

(3) デリバティブ取引の契約額および時価

前事業年度末(2019年3月31日)

ヘッジ会計が適用されないもの

| 種類 | 契約額等 (百万円) | うち1年超 | 時価 (百万円) | 評価損益 (百万円) |
|---------|---------------|-------|-------------|---------------|
| | | | | |
| オプション取引 | | | | |
| (売建) | 2 | | 0 | 0 |
| (買建) | 6 | | 0 | 0 |
| 先物・先渡取引 | | | | |
| (売建) | 2,588 | | 4 | 4 |
| (買建) | 1,970 | | 5 | 5 |

(注) 1 先物取引についてはみなし決済損益を時価欄に記載しております。

2 時価の算定方法は、以下のとおりであります。

- 株券オプション取引.....金融商品取引所が定める証拠金算定基準値段
- 株価指数オプション取引.....金融商品取引所が定める証拠金算定基準値段
- 債券先物取引.....金融商品取引所が定める清算指数
- 株価指数先物取引.....金融商品取引所が定める清算指数

ヘッジ会計が適用されるもの
該当事項はありません。

当第3四半期会計期間末(2019年12月31日)

ヘッジ会計が適用されないもの

| 種類 | 契約額等 (百万円) | うち1年超 | 時価 (百万円) | 評価損益 (百万円) |
|---------|---------------|-------|-------------|---------------|
| | | | | |
| オプション取引 | | | | |
| (売建) | 1 | | 0 | 0 |
| (買建) | 8 | | 5 | 5 |
| 先物・先渡取引 | | | | |
| (売建) | 2,217 | | 1 | 1 |
| (買建) | 3,261 | | 14 | 14 |

(注) 1 先物取引についてはみなし決済損益を時価欄に記載しております。

2 時価の算定方法は、以下のとおりであります。

株券オプション取引.....金融商品取引所が定める証拠金算定基準値段

株価指数オプション取引.....金融商品取引所が定める証拠金算定基準値段

債券先物取引.....金融商品取引所が定める清算指数

株価指数先物取引.....金融商品取引所が定める清算指数

ヘッジ会計が適用されるもの
該当事項はありません。

2 トレーディングに係るもの以外

(1) 満期保有目的の債券

前事業年度末(2019年3月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期会計期間末(2019年12月31日)

該当事項はありません。

(2) 子会社株式および関連会社株式

前事業年度末(2019年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額7百万円)は、市場価格がなく時価を把握することが極めて困難であると認められることから、記載しておりません。

当第3四半期会計期間末(2019年12月31日)

子会社株式(四半期貸借対照表計上額7百万円)は、市場価格がなく時価を把握することが極めて困難であると認められることから、記載しておりません。

(3) その他有価証券

前事業年度末(2019年3月31日)

| 区分 | 種類 | 取得原価 (百万円) | 貸借対照表計上額 (百万円) | 差額 (百万円) |
|---------------------|-----|---------------|-------------------|-------------|
| 貸借対照表価額が取得価格を超えるもの | 株 式 | 890 | 1,114 | 223 |
| | その他 | 300 | 322 | 22 |
| | 小 計 | 1,190 | 1,436 | 245 |
| 貸借対照表価額が取得価格を超えないもの | 株 式 | | | |
| | その他 | 300 | 252 | 47 |
| | 小 計 | 300 | 252 | 47 |
| 合 計 | | 1,490 | 1,689 | 198 |

(注) 非上場株式および投資事業有限責任組合等への出資(貸借対照表計上額10億54百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難であると認められることから、上表のその他有価証券には含めておりません。

当第3四半期会計期間末(2019年12月31日)

| 区分 | 種類 | 取得原価 (百万円) | 四半期貸借対照表 計上額(百万円) | 差額 (百万円) |
|------------------------|-----|---------------|----------------------|-------------|
| 四半期貸借対照表価額が取得価格を超えるもの | 株 式 | 1,007 | 1,200 | 193 |
| | その他 | 200 | 205 | 5 |
| | 小 計 | 1,207 | 1,406 | 199 |
| 四半期貸借対照表価額が取得価格を超えないもの | 株 式 | | | |
| | その他 | 400 | 348 | 51 |
| | 小 計 | 400 | 348 | 51 |
| 合 計 | | 1,607 | 1,755 | 147 |

(注) 非上場株式および投資事業有限責任組合等への出資(四半期貸借対照表計上額10億27百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難であると認められることから、上表のその他有価証券には含めておりません。

(4) デリバティブ取引の契約額および時価

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|--|--|--|
| 1株当たり四半期純損失金額()(円) | 23.46 | 8.74 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純損失金額()(百万円) | 220 | 82 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | | |
| 普通株式に係る四半期純損失金額()(百万円) | 220 | 82 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 9,415 | 9,437 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前事業年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月7日

光世証券株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池 田 剛 士 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北 口 信 吾 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている光世証券株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第60期事業年度の第3四半期会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、光世証券株式会社の2019年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。